

別添資料

「県都デザイン戦略（案）」に関する県民パブリックコメント
意見の概要および県・市の考え方

1) 全体に関すること

No	意見の概要	県・市の考え方
1	この計画が目指す方向性は大いに賛同する。是非推進してほしい。	県民、市民、企業、団体等の協力をいただきながら、県・市が連携し、計画を推進していきます。
2	県都として、例えば恐竜、豊かな食、伝統産業、自然、信仰等といった、福井県の宝が感じられるまちという視点が重要ではないか。	各市町への玄関口として、食の発信、ものづくり産業の発信、福井の豊かな自然を象徴するような緑豊かな空間デザイン等により、福井県の魅力を体感できる県都の実現に努めます。
3	コンパクトなまちの中で交流や出会いがあり、若者から高齢者まで一人ひとりが個性や能力を発揮でき、夢や希望を抱き、実現でき、幸福感を感じられるまちづくりが大事である。	ご指摘の通り、プロジェクトの実現を通して、福井城址公園、足羽山や足羽川をはじめとして、まちなかにおいても、若者から高齢者までが、豊かに楽しく生活や活動できる場を提供し、県民、市民が誇りと愛着をもてる県都の実現に努めます。
4	日常生活を送る中で、癒しとやすらぎがあり、子どもが楽しく健全に輝くまちを目指してほしい。	
5	観光客を意識した街づくりだけでなく、そこに住んでいる地元民が自信と誇りを持つまちづくりをしてほしい。	
6	県都福井を他県や、世界へアピールするためには、歴史や伝統を大切にし、当時を偲ぶことができるような町並みをつくるといった過去の踏襲だけではなく、新たな創造も必要である。	歴史を個性として重視すると同時に、次の時代に受け継がれる文化や創造性が育まれるまちを目指し、各プロジェクトを推進していきます。
7	まち全部を公園のようにすればよい。日本で屈指のきれいで安全なまちこそ、福井の目指すべきまちではないか。	ご指摘の通り、足羽山、足羽川からまちなかに緑がつながる、豊かな緑のあるきれいなまちこそが、福井県の自然を象徴した県都の目指す姿と考えています。

8	福井市郊外に、市美術館や県立音楽堂、県立図書館などが配置され、中心部において文化的な資産や活動が形成されていないことは非常に残念である。そのためにも、文化を育てるような駅周辺となるよう、努力してほしい。	福井県の顔となる県都として、文化を育てる環境を形成していくことは重要だと考えています。長期的に、芸術、文化機能が集まる中心部の形成を目指していきます。
9	県都をどのようにデザインしていくのか、分かりにくい。	新たに「県都の目指す姿」の実現イメージを柱立てし、できるだけ明確に記載します。

2) 趣旨・目的に関すること

No	意見の概要	県・市の考え方
10	「福井市の中心市街地が何故今後も必要か」についての理由が不明確である。	新幹線の延伸、高規格道路の整備による来県者の増加が予想されます。地域間競争が厳しさを増す中、県全体の都市力を高めるため、経済、観光、文化の中心地であり、多彩な魅力のある県内各地への玄関口として、県民はもとより、増加する来県者を惹きつける県都中心部の重要性は高まると考えています。
11	新幹線、高規格道路で交流人口が高まり、県内各地をリードする必要があると書いてあるが、高規格道路は駅前とは関係がないのではないか。	
12	各地をリードすると言っており、具体的に、県外からの玄関としてもてなし機能、県内の市町を紹介する機能を高める、投資、人材、情報が県都に集まる求心力を高める為に必要な仕組みを構築すべきだが、その計画がない。	本戦略は、県民、市民、企業、団体等の協力・参画のもと、都市をデザインすることにより、民間による新たな観光、投資等の経済活動や、まちづくり等の社会活動が生まれるための基盤になるものと考えています。
13	方策が観光と景観、緑、歴史に偏っており、産業政策（成長戦略）が無い。都市が持続していくためにはその核となる中心部の役割、投資環境の向上が欠かせない。中心部が発展するための成長戦略構築が重要である。	本戦略は公共空間を中心に、都市の構造や骨格をどう変えて、豊かな生活の場として、誇りの持てる県都をいかにデザインしていくかという考え方を示したものです。投資を促すための成長戦略の基礎となるものと考えています。
14	福井市を他県に PR しようという「シティプロモーション」方針、戦略が必要ではないか。	本戦略を具体化し、国体や新幹線の延伸等の機会を捉えた、効果的な福井県都の発信につなげたいと考えています。

3) I. 歴史を受け継ぎ、新たな文化を創造する県都

No	意見の概要	県・市の考え方
15	観光産業自体が先細りしており、福井城を復元しても、観光客の増加になるとは考えにくいのではないかと。福井市の住民が集まりたくなる場所として、福井城址・中央公園地域を整備してはどうか。	福井城址公園の整備にあたっては、コンペによる様々なアイデアの募集や、ワークショップ等への県民・市民の皆様の参加といったプロセスを踏まえ、公園の役割、デザインや機能等を決めていきたいと考えています。このプロセスを踏まえることで、皆が集まりたくなる魅力的な場所として整備したいと考えています。
16	城址公園を史跡公園として観光拠点にするのか、市民の活動の場とするのか。両方ならばその場をどのように市民が活用するかを考えるべき。内堀内と中央公園の機能分担はどうなるのか。	
17	城址に天守閣などを再建して欲しくない。天守閣があるからといって、決して住みたいまちにはならない	城址内を、どのように復元していくかについては、長期的な課題として、時間をかけて議論し、具体化を検討する課題と考えています。復元にあたっては、県民の皆様の気運の高まりが不可欠だと考えています。
18	御座所の復元は、観光で採算が取れるとは思えない。	御座所については、復元するのか、礎石を見せるだけにするのかなど、様々な遺構の活かし方があります。今後の埋蔵文化財調査も踏まえ、城址公園整備の中で検討する課題だと考えています。
19	城址公園について、次のように提案する。 <ul style="list-style-type: none"> ・城址公園の西側にビオトープを設置して安らぎの場とする。 ・トイレは石垣の一部を復元し、その中に設置する。 ・御座所跡は歩きやすく配慮しながら、敷石やブロック等で明示する。 ・城址公園に県外に発信できるイベントを開催する広場がつかれないか。 ・公表された半地下イベント広場は、石垣を活用する良いものだが、北側、南側からも往来を可能にするとよい。 ・現行のライトアップ事業やイベントに必要な電源、水道、排水等を設置する。 ・歴史文化意識の高揚と、知名度のある城址公園にするため、「福井城址春嶽公苑」などの愛称をつけてはどうか。 	城址公園については、歴史を偲ぶ空間、憩いの空間、活動・文化の空間の3つの機能を持ったものとするを方向性として打ち出しており、ご意見の趣旨と合致するものと考えます。 ワークショップ等を開催し、県民、市民の意見を聞きながら、具体的なデザインを考えていきます。

20	<p>福井城址公園を、福井版グエル公園として次のようにしてはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺構など、現存するもの、本物はできる限り保存 ・復元にはこだわらない ・季節を楽しめる明るくのびやかな自然公園 ・恐竜をモチーフにした芸術性のある遊具を点在 	
21	<p>中央公園再整備の中で、堀を復元するにあたっては空堀として豪雨時の貯留槽や豪雪時の雪置場として活用するなど、防災の観点も必要ではないか。</p>	
22	<p>城址公園でオープンカフェなどができる設計や仕組みが必要。</p>	
23	<p>県庁お堀に屋形船や手漕ぎボートなどを浮かべて、将来は城址公園やその周辺を楽しめるようにできないか。</p>	
24	<p>中央公園東側、北側の道路を無くせば、魅力的な城址公園となるのではないか。</p>	
25	<p>城址等の復元に向けて、県民、市民に加えて、県出身者や県にゆかりのある人などにも寄付を募るべき。</p>	<p>復元等に向けては、県民、市民のほか、県にゆかりの方々などからのご寄付については、協力をお願いしたいと考えています。</p>
26	<p>各庁舎移転の目的が今一つ理解できない。</p>	<p>庁舎の移転、再配置を念頭に、県都のシンボルである城址と中央公園を、緑豊かな、県民、市民のための魅力的な空間として再編し、県都の顔をつくりたいと考えております。</p>
27	<p>福井城址公園の整備のための県庁や市役所の移転は大賛成である。本丸内の県庁が県都の魅力を害する最大の課題である。</p>	<p>城址公園の整備にあたっては、将来的な文化拠点の配置や、様々な空間デザインのアイデアを取り入れながら、福井ならではの県内外から人が訪れる場にしたいと考えています。</p>
28	<p>莫大な費用をかけて市役所・県庁舎の移転と城址公園の整備をしたところで、有名な各地の城址公園には到底太刀打ちできず、県外の観光客をほとんど呼び込むことができないと考えるため、強く反対する。</p>	
29	<p>福井城址公園は、県庁・議事堂・県警と市役所の移転先を先に考える必要があるのではないか。</p> <p>[移転先について]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトシティを目指して、できるだけ中心部に県庁、市役所を配置し、賑わいを 	<p>移転先については、現時点で決定できるものではありません。ただし、駅と行政機能、商業機能が隣接していることは県都の特徴であり、その特徴を維持し、経済、観光、文化的な面で、県全体をリードすることは重要であると認識しています。</p>

	<p>維持すべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井駅東口が、東口発展のためにも良いのではないか。市役所は少なくともまちなか地区からできるだけ近い距離が望ましい。 ・郊外移転は反対。大手2丁目周辺に超高層のツインタワーを建ててはどうか。 ・県庁舎を栄冠幼稚園からホテルフジタ北側の中央公園まで、議事堂を福井神社に、福井神社を本丸内に、警察本部を県民会館跡地に、市庁舎は現在地に建設し、職員の駐車場は堀の下としてはどうか。用地がほぼ公有地であり、中心から人口が減ることもなく、仮庁舎の建設もない等が利点である。 ・移転場所を中央1～3丁目とし、勤務する公務員に対しては徒歩圏内での居住義務（補助あり）と公共交通機関を利用した移動の徹底を進めることで、コンパクトな都市が実現できるのではないか。 	
30	<p>歴史資産を掘り起こして、何を伝えるかのメッセージが必要である。（例：維新を完成させた越前・力の薩長、知の越前）</p> <p>福井は、幕末の歴史を感じさせるものが多く点在し、明治維新に活躍した人物を多く輩出している。これらを活かしたまちづくりは、県民に自覚と誇りを持たせる意味でも有効。</p>	<p>ご指摘の通り、福井は幕末から明治維新にかけて活躍した人材が多く輩出され、その時代の旧跡も多いことから、幕末の歴史を活かす方針を明記します。</p>
31	<p>養浩館の整備では外堀の復元を進めて欲しい。親水のための堀への階段の先に柵が出来てしまわないようにする必要がある。</p>	<p>長期的な課題として、旧跡をできる限りかつての姿に再現することを目指しています。</p> <p>あわせて、歴史を残しつつ、現代の街として新しいまちに合うデザインを形成していきます。</p>
32	<p>幕末や明治維新など、単に昔の風景に戻すというのでは面白みがない。歴史を基にイメージを膨らませ、現代の街に合うようなものにしてほしい。</p>	
33	<p>歴史スポットは地域住民と結びつけ、維持管理の一部を協力してもらう仕組みが必要。地域の誇りにも繋がる。</p>	<p>ご指摘の通り、地域住民と協働し、また、地域住民が誇りを感じるまちづくりを目指します。</p>

34	歴史拠点には次の拠点までの歩行・自転車時間と案内も付けるとよい。	歴史資源の活用に当たっては、歴史拠点整備だけでなく、案内などで分かりやすく理解できることや拠点間を容易に行き来できるようにするための看板表示等も進めます。足羽山、足羽川地区の幕末の旧跡や、歴史拠点の整備について、25年度に構想を策定し検討を進めます。	
35	歴史拠点には案内板など、歴史を分かりやすく説明するものの設置が必要ではないか。		
36	三秀園の復元整備、中央信託銀行の博物館化等、歴史資源の効果的な活用方法を検討して欲しい。		
37	三秀園を復活させるだけでなく、地下にポンプ場の機能を兼ね備えたものにするなど、防災の観点も取り入れてはどうか。		
38	「歴史を感じさせる都市づくり」のために、福井の歴史を分かりやすく伝えるツールやイベントなど、ソフト的取組みにより、歴史を県民に認知、浸透させる事も大事である。		
39	毛矢町・左内町～左内公園～愛宕坂にかけては、幕末の歴史を感じさせるものが集中していることから、「幕末福井専門の記念館」をつくるなど、整備強化し、全国から幕末ファンが訪れる名所にしてはどうか。		
40	福井県は多くの神社仏閣がある。福井市においてもこれら神社仏閣が人々の交流拠点となり、建造物としての魅力を高め、神社仏閣が息づくまちという視点も必要ではないか。		足羽山の麓には、幕末の旧跡や今も残る寺社地が残っており、これらを活かす歴史散策エリアや景観づくりを進めます。
41	歴史を生かした景観形成では、ファサード整備のルールとインセンティブを考える必要がある。		民間施設を含む景観の統一についてはルールと支援の検討を進めます。
42	道路名称は名称から地域が特定できないと使われない。桜橋は片町通りでよいのではないか。桜の小径は馴染まないと考える。また、歴史の道は道路名称には不向きではないか。		福井城は五重の堀に特徴がありますが、内堀以外は埋まっているため、堀の記憶を映す名称により歴史を感じることができるまちづくりを進めたいと考えております。なお、道路愛称や「歴史のみち」の名称変更の際には、現在の市民の認知度やご意見を聞きながら取り組みます。
43	通りの名前を変えた程度で歴史の重みを感じられるようになるのか。		
44	グリフィス、橋本左内、柴田勝家やお市など、人名を通りや広場の名称に利用してはどうか。		

45	中央3丁目を浜町とする町名の変更は進めるべきである。	旧町名の復活については、城下町の歴史を実感できるまちづくりを進めるため、気運を醸成し、地域住民の合意を前提に、取り組んでいきます。
46	旧町名の変更までは住民の合意が得られるまで時間がかかるため、まずは愛称として使用し、その由来や歴史、範囲が分かるように表示したらよい。	
47	文化の創造・発信について、この地区にはモノづくりの拠点が必要（繊維博物館・ものづくり体験館等・工芸品展示販売所）再開発の2階では効果が薄いのではないかと。	文化を育て、発信する都市を目指し、漆器、眼鏡、打ち刃物等のものづくりの発信やまちづくりへの活用、長期的には福井城址周辺への文化拠点の配置などについて進めることとしています。 ご指摘の点も参考にしながら、県・市の連携のもと、県都の歴史・伝統、文化を発信する手法を検討します。
48	文化拠点は、公共交通拠点及び駐車場から近い位置に設けることが望ましい。またその後の飲食も考慮し、中心商店街から遠くない位置とする。	
49	美術館をつくるならば、人を育てるアトリエ、工房機能を充実させるとよい。	
50	城址公園近隣に文化施設をつくるのなら、2000人～3000人クラスのコンサートが開催可能なホールがよい。	
51	「歴史を掘り下げることのできるまち」として、県立歴史博物館と市立郷土歴史博物館の展示内容を時代ごとに分けたり、思い切って駅前に施設を統一するなど、散漫な展示としないで、日本海側で一番の施設を目指してはどうか。	
52	「歴史を受け継ぎ、文化を育て、発信する県都の実現」の方向性には賛同する。芸術・文化拠点の配置は重要だと思うが、新たな施設を増やすのではなく、既存の文化施設（文化会館、美術館、博物館等）の移転・拡充、および継続的に創造的な活動を行っていくための、人材（プロデューサー、ディレクター、学芸員等）の雇用、育成を図っていくべき。	
53	豊かな食材、越前漆器や越前焼、越前打ち刃物など料理を味わい、調理する伝統工芸を活かし、文化に育まれたグルメなまちという切り口は重要である。	
		豊かな食や伝統産業は、福井県を発信する重要な切り口だと認識しており、ご指摘の点も参考にしながら、場所、形態など様々な点について検討したうえ、駅周辺において、ものづくりデザインの

54	食文化は拠点となる、つくるところ、食べる ところ、買うところが重要である。なお、西 武の2階広場が最適だと考える。	発信、「食の拠点」を形成することを目指します。
55	食の拠点は、利用者の立場になって公共交通 拠点及び駐車場から近い位置に設けることが 望ましい。また、イベントができる道路沿い に設けるとよい。	
56	野菜や魚などの常設の市（マルシェなど）を 高架下などに作ってほしい。	
57	野菜や水産物の販売を現在のように点在させ ないことが必要ではないか。	
58	蕎麦横丁やカツ井横丁、屋台村など、食を打 ち出す仕掛けも良いのではないか。官設民営 の運営も考えられるのではないか。	
59	駅前のアーケード街を利用して、まちづくり やアートなどに、無料でチャレンジできるス ペースをつくるべき。	
60	安価で県民に使いやすい施設（全天候型のフ ットサルコート、バスケットコート、マラソ ン愛好者向けのシャワーやロッカー、更衣室 等）など、スポーツ、文化活動、イベント等、 市民が活動しやすい場所の提供が活性化には 必要ではないか。	本戦略で、まちなかでスポーツを楽しめる環境づ くりを進める方針を記載します。

4) II. 美しく持続可能な都市

No	意見の概要	県・市の考え方
61	駅広に福井城址に繋がる石垣を活用する等、 デザインの工夫が必要ではないか。	西口広場から城址までを緑で繋ぐ中で、城址の石 垣が際立つようにしたいと考えています。
62	駅西口広場の屋根付き広場は、メンテナンス がしやすい、維持コストが安い設計をしてほ しい。	ご指摘の通り、維持コストを考慮して設計を行 います。
63	駅前のビルにマンションを作るのは反対。30 年後にはスラム化する恐れがある。	西口再開発ビルに共同住宅が入ることは決定し ていますが、維持管理が適切なものとなるよう努 めます。
64	福井駅東口のバス停付近には水たまりがたく さんできる。整備の際には改修を希望する。	改修が必要な個所については、対応します。

65	<p>駅前は玄関口としてその街の印象を大きく決める。例えば次のように駅前の景観づくりに注力してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金沢駅の鼓門のようなゲートを西口ビルからの底に設ける ・福井の重要な資産である「自然」、つまり「木」と「水」を都市景観デザインに盛り込む、 ・西口ビルのデザイン性を高め創造性とインパクトを与える ・駅前の建物景観（高さ、色彩、素材等）に制限を加え統一感を持たせる ・城址公園までの道が駅から吹き抜けて見えるようにして、視覚的に身近さを持たせる 	<p>ご指摘の通り、玄関口における印象は重要であり、シンボルとなる西口再開発ビル、西口広場等の整備を進めます。</p> <p>なお、恐竜は福井県としても重要な観光資源であり、新幹線金沢開業や舞鶴若狭自動車道全線開通などの機を捉えた戦略として、発信を強化していきます。</p>
66	<p>駅前広場に福井県の特産を用いた「恐竜の塔」など、恐竜をアピールするものを設けてはどうか。</p>	
67	<p>恐竜博物館行きのバス停付近には恐竜の足跡、三国方面はカニマークなど、乗継時に移動先をイメージでき、楽しい足元のデザインを取り入れてはどうか。</p>	
68	<p>デザイン性の高い、大きくユニークな恐竜の看板を高速道路や電車から見えるように設置するなど、恐竜県を前面に打ち出す巨大看板による印象付け戦略を実施してはどうか。</p>	
69	<p>サグラダ・ファミリアのように、大掛かりでデザイン性のある建築を寄付金（入場料含）のみで何十年もかけて造っていったらどうか。</p>	<p>優れた建築は公共、民間の建築に関わらず、都市の印象を決める重要な要素であり、景観づくりのルールづくりなどを進めます。また歴史的施設の復元については、県民、市民等による寄付の協力をお願いしたいと考えております。</p>
70	<p>観光資源としての福井城址から福井駅までの利用人数を考えると、駅と城址をつなぐ軸の整備は不要ではないか。</p>	<p>歩きたくなる街を形成するため、歩道の緑化整備等を行うこととしており、そのことにより民間によるオープンカフェ等の機運が高まることを期待しています。</p>
71	<p>オープンカフェができる歩道の設計をお願いしたい。そのための歩道の拡張、オープンカフェの設置は地元と協議の上、規制緩和、民間投資をセットで考える必要がある。</p>	<p>なお、歩道や道路上でのイベント開催については、道路管理上の問題や民間の盛り上がりなどの課題がクリアされる必要があると考えます。</p>

72	通りに大きな木々を植えて風格を出すところが、植える位置、標識との関係、虫のつかない樹種など、十分に検討が必要である。	
73	幅広い歩道が縦横にある道路を活かして、綱引き大会や特産まつりなどの人を集めるイベントを開催してはどうか。	
74	街灯が異なることに言及しているが、そうなる理由を検討しなければ解決できない。	整備主体の違いや整備時期の違いにより、街灯等のデザインが異なってきたと認識しています。将来に渡って統一感のあるデザインを実現するために、基準の明示とデザイン調整の体制づくりを進めます。
75	街区再構築は低未利用地が多くなる地域に必要であるが、行政が一部買い上げる（借りる）くらい明確な実施計画にしないと出来ない。	公園や道路、公共施設をつくる場合には行政の買い上げが必要となりますが、街区再構築を進めるには、まず地権者の意向が一致する必要があり、協議をしながら進めます。
76	街区の再構築は、重要な問題であるので早急に取り掛かり、具体的な計画を短期でつくるべき。	モデル地区による先行実施を念頭に研究を進めていきたいと考えております。
77	セットバックを実現するためには、優良建築物等整備事業等を使うなど、手法に工夫が必要ではないか。	
78	駅東に対する取り組みが弱いのではないか。高志高校あたりまでの、東口全体のまちづくりの方向性を示してほしい。	駅西口においてオフィスビルの連鎖的な移転・再開発など、街区再構築を進めるとともに、新幹線駅となる東口については、業務機能、2次交通機能の向上を目指します。
79	例えば、駅東の北陸電力と三谷商事のビルを西武の裏等に移転を誘導し、現在の北陸電力の場所には民間オフィスビルを建設し、郊外から企業の移転を促してはどうか。	
80	空き店舗や未利用地を利用できるようにする税制面等の制度づくりが必要ではないか。	空き店舗、未利用地の利用促進のためにどのような方策が有効か、検討していきます。
81	どこに駐車場を配置するか、商業と駐車場の関係はどうするかなど、今後の駐車場の考え方を示すべきではないか。	公共交通の整備、歩行者専用空間の形成とあわせ、車利用者への対応についても検討していきます。

82	田原町を改築する際は、コンビニや飲食店などのテナントを誘致するなど、活力ある駅舎に改善してほしい。	公共交通維持のための利用者増加や利用者の利便性を考慮した駅等の整備について、鉄道事業者と話し合った上で進めます。
83	新田塚、西別院、福井口、越前新保、花堂、江端の各駅についても、駅の周りのスペースにコンビニを誘致するなど、各駅の利用シーンの拡充してほしい。	
84	鉄道各駅のトイレについて、洋式化やバグを置くスペースを設置するなど、使い勝手やバリアフリー化を推進してほしい。	
85	鉄道路線全線、全駅、全電停に自動旅客案内表示器と案内放送を導入するなど、案内機能の拡充充実をしてほしい。	
86	公共交通機関をより快適に利用できるように、待合室・トイレ・車内の照明は、コスト削減で消灯しないで、営業時間内は常時点灯するようにしてほしい。	
87	公共交通を活かすなら、駅毎の利用者数を毎年発表して居住者や立地企業に伝えるべき。公共交通を通勤利用できるよう、企業が通勤定期額を負担するように働きかけることが必要ではないか。	
88	ヒゲ線を延ばすよりも、東口とくっつけて循環線にした方が良いのではないか。	
89	北陸線の新駅導入の場所は高木町・高木1丁目2丁目辺りがベストではないか。	北陸線の交通幹線軸としての機能強化は中期的な課題として検討していきたいと考えています。
90	福井県外の他の交通事業者とのICカードの相互利用ができ、日本の交通ネットワークの仲間入りができるように、県内の鉄道路線全線・全駅・全電停に自動券売機と自動改札機の導入と、バス運賃箱にも読み取り機の設置をしてほしい。	ICカードや自動改札機等の導入は、鉄道・バス利用者の利便性向上につながりますが、整備に伴う初期投資、維持管理費と効果を十分検討する必要があります。
91	公共交通が居住や企業立地のインセンティブにはならないのではないか。富山を参考にすべき（富山市は財政が厳しくなり後退し始めている）	居住や企業、公共、生活機能の集積と公共交通整備は、いずれも都市構造を形づくる重要な要素であり、それらが互いに相乗効果を働かせ、コンパクトな都市形態を実現したいと考えております。

92	福井駅周辺にレジャー施設を誘致してはどうか。	人を呼び込む仕掛けは必要であり、西口再開発における自然・教育機能の配置、城址や幕末の歴史を活かしたまちづくり、緑のあるまち並みなど、まち全体の魅力づくりを目指します。
93	シェルターネットワークは横断歩道でも繋がらないと意味がないのではないか。	歩道上でもシェルターネットワークが繋がることは重要だと考えておりますが、道路管理上の課題があり、実現可能性については十分検討が必要であると考えております。
94	乗り捨て自転車のしかけは上手くいくように期待している。	サイクルシェアの社会実験を実施するとともに、中期的に自転車ネットワークの形成を検討していきたいと考えております。
95	東大通りに自転車専用レーンを設けるなど、シンボル軸の歩行者中心の空間への転換に加えて自転車者利用者も加えるとよい。	
96	中央通りの通行量は減少する。京福、福鉄のバス停を並べて配置する。地下道と民間施設を連結させてはどうか。	バス停については、駅西口広場の公共交通結節機能の向上との関連での課題であると考えております。 その他、サービス利便性、各施設間のアクセス向上などの観点からのご意見については、民間による実施も含め、検討すべき課題であると考えます。
97	駅前で買い物する高齢者に対しての、荷物運びのサービスや、お客さんの質問に答える駅前コンシェルジュを置くなど、福井への歓迎ムードが作れたらよい。	
98	敦賀港を起点とした日本海に開かれた福井県をめざし、福井駅から敦賀港を直行バスなどで結び、嶺北から敦賀港を利用しやすくすべきではないか。	

5) III. 自然を守り、緑や水と共生する都市

No	意見の概要	県・市の考え方
99	「緑との共生」という方向性が掲げられているが、それを実現するために、切りすぎる街路樹のようにならないようにし、樹木を健全に育てることを考えてほしい。	都市の緑化を進めるにあたって、緑の価値を認識し、皆で守っていけるような住民の意識づくりも含め検討していきます。
100	風致地区であり開発の出来ない民地である足羽山、イベントに活用しにくい足羽川の河川敷について、活用の可能性を十分に調査・検討する必要がある。	現況の課題を整理した上で、足羽山・足羽川の活用を進めていきます。

101	足羽川の河川敷をライトアップ等も行い、様々な活用ができるように整備してほしい。	夜間景観の形成については、街並みや川沿い、足羽山からの眺望など、それぞれの場所で進める方向性について記載します。 足羽川については、利用しやすい水辺環境の整備を進めていきます。
102	足羽山の電波塔をライトアップしてはどうか。	
103	足羽河原の桜を活かすための建物の高さ規制は素晴らしいと思うので、ぜひお願いしたい。	地域住民との協働のもと、高さ制限や眺望保全など、景観形成のためのルールづくりを進めていきます。また、足羽山からの眺望をさらに楽しめる環境づくりをしていく必要もあると考えています。
104	足羽山の頂上にもう少し高い建造物をつくり、福井市内のパノラマを望めるようにしてはどうか。	
105	足羽山の里山ミュージアムは大賛成である、親子、家族、仲間で大いに自然と戯れ楽しめる場所にしてほしい。	足羽山では、自然に触れながら創作的な文化活動ができる空間づくりや、自然学習等の場となる散策環境整備を進めていきます。 また、ご指摘の通り、足羽山のアジサイ、モミジ、足羽川の草花植栽や桜堤など、四季を通じた花と緑の風景形成、樹木・緑の保全・再生を進めたいと考えております。
106	「里山アート・ミュージアム」の形成とあるが、漠然とアートという言葉を用いているようにしか見えず、何を指そうとしているのかよくわからない。	
107	足羽川の緑地帯や足羽山に恐竜の足跡や恐竜の像を設置するなど、恐竜の要素を活用してはどうか。	
108	足羽山の山頂まで登れるリフトを設置してはどうか。	
109	県の花スイセンと市の花アジサイで日本一を目指し、全ての催し等でスイセンとアジサイをコラボさせていくなど、花々を活かし、発信することで少ない予算で観光客を呼ぶことができるのではないかな。	
110	玄関先に花壇を並べことから始める景観づくりもある。地域や町内毎で花によるきれいなまち並みづくりを競わせることで、良い景観が生まれていくのではないかな。花にあふれるまち並みや道が、観光客を誘導する先導役にもなってくれる。	
111	足羽川、足羽山の桜が寿命を迎えつつあるので、その保全と新たな植樹を早急に計画立案し実行してほしい。	

112	水と緑のまちづくりを望む。駅前広場に噴水を設けたり、光明寺用水を活用した水の遊び場やせせらぎのある公園、消火・消雪への水の利用はいかがか。	「水」の活用は重要な視点であり、特に、養浩館庭園周辺では芝原用水を活用した景観、空間形成を進めたいと考えています。また、光明寺用水など、市街地を貫流する用水路の今後のあり方についても検討していきます。
113	農業用水のパイプライン化に伴って、光明寺用水を利用しての取水経路が変わり止水することになる。光明寺用水からお堀や底喰川への送水が困難となるため、水環境の悪化を懸念している。水利用によるまちづくりを考えていただきたい。	

6) 推進方策

No	意見の概要	県・市の考え方
114	先ず、行政の縦割りを廃し、観光・居住・6次産業・産業振興・福井祭りの分野で、中心部の役割等の方針をまとめる必要がある。 また、貸自転車も県と市の3部局がバラバラに行なっているのを統一し、県道と市道の管理規則の相違も統一すべきである。	来年度以降、県・市による県都デザイン戦略推進会議を設置し、横断的にプロジェクトの実施内容やスケジュール等について調整しながら推進していきます。
115	報告書（案）に書かれているものを、短期に作りこんでしまうのではなく、時間と労力をそれなりにかけて、真に将来の世代へ引き継いでいけるまちづくりをしていくことを大事にしてほしい。	プロジェクトの実現にあたってはワークショップ、社会実験の実施や県内外からアイデアを集める機会等を設けるとともに、全体性を保つためのマネジメントにより、将来の世代に引き継ぐにふさわしいまちづくりに努めます。
116	このままでは民間・市民との協働は難しい。地元や事業に参画可能な市民団体（ステイクホルダー）との話し合いを持ち、実現していくことが必要。	まちづくりに関する活動の場を整備するとともに、公園や道路景観の整備段階では、ワークショップ等により若者の思いを踏まえた公共空間を形成していきます。
117	町を活性化するためには若者が集まるのが大切である。そのためにも、プランを策定する段階でもっと若者の意見を集め、若者が活躍するまちづくりが重要である。人々の想いをまちづくりに活かしてほしい。	
118	県民、市民対象に説明会を開催してほしい。	新聞、テレビを含め、県・市の広報媒体を利用した情報提供を行うとともに、要望に応じて、出前講座等を活用した説明会を開催するなど、積極的に対応したいと考えております。